

「広報かぬま」に掲載された写真は、ご本人に限り、L版プリント1枚を無料で差し上げます。広報広聴係☎(63)2128へお問い合わせください。



荒々しく地域の平和を祈願

— 発光路の強飯式 —

1月3日、上粕尾の郷土文化保存伝習館で、地域の平和を祈念する伝統行事「発光路の強飯式」が行われました。「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」と同じく、県内に4つしかない国指定重要無形民俗文化財のひとつです。

山伏と強力が登場し、平伏する氏子や役員、市長などに「酒なら三十三杯、湯が五杯、強飯七十五膳がお定まり。一粒一菜の許しはないぞ」と口上を述べ、地域の問題や市政などに注文をつめました。そして「しかと申しつけたぞ。申し受けたとあらばこの強力、めでとう祝うてやる」と責め棒で首を押さえ付け、荒々しく祝いました。

今年もたくさんのお見学者が集まり、強力の面白おかし口上に笑い声が上がりました。

黒川にかかる虹の橋

— 鹿沼市消防出初式 —

1月12日、澄み渡る青空の下、鹿沼市消防出初式が行われました。

古峯原宮通りを、鹿沼工業組合による木遣りを先頭に、鹿沼市消防団正副団長OB会、婦人防火クラブと消防団員約800人、消防車両44台が堂々とパレード。続いて黒川河川敷で消防団が一斉に放水すると虹の橋がかかり、見学者から歓声が上がりました。

また、昨年結成された消防団本部女性部の愛称が「さつき隊」に決まり、この日に披露されました。



鹿沼の冬の風物詩

— 花市 —

今年も例年通り、1月第4土曜日の24日に開催された花市。末広通りの福田屋百貨店から鹿沼高校まで約1.5kmが歩行者天国となり、474店もの縁起物や植木、食べ物の露店が軒を連ねました。

通りは朝から夜まで多くの人でにぎわい、皆さんは「どの店がおいしそうかな」と品定め。青や黄色などのカラフルなミニだるまも並び、親子連れが笑顔で手に取っていました。

